

# もう設置済みですか？

## 『住宅用火災警報器』



平成23年6月1日から  
すべての住宅に設置が義務付けられます

皆さんは大切な家族と自分を

火災から守ることができずか？

もし就寝中に火災に巻き込まれたら・・・。  
普段、気を付けているつもりでも、漏電や寝たばこなどが原因で、火災が発生すること  
も考えられます。被害を最小限に抑えるために、また、命を守るためにできることは  
一体何でしょうか？

今月は「住宅用火災警報器」について特集します。

消防法の改正により、平成二十三年六月一日から、すべての住宅やアパート等におい  
て火災警報器の設置が義務付けられますので、それまでに設置することが必要です。

まだ火災警報器を設置していない方は「大切な家族と自分の身を守るため」に一日で  
も早い設置をお願いします。

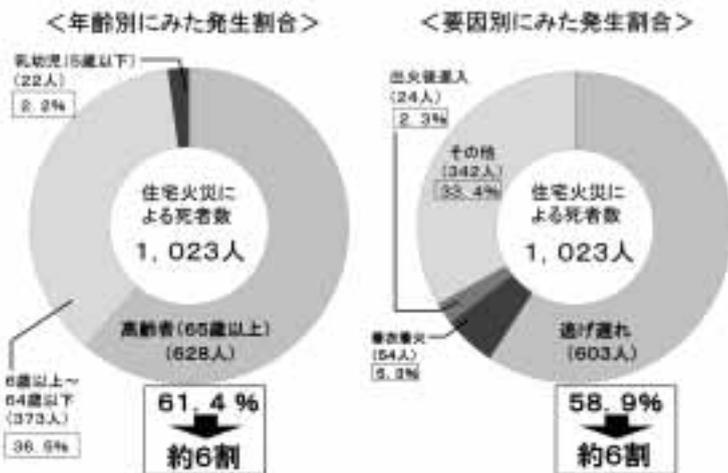
### 村内の火災警報器設置率はわずか18%

平成22年10月末現在、村内における火災警報器設置率は、  
わずか18%にすぎませんでした。

平成22年6月末現在の県内設置率42.9%と比較しても大変  
少ない設置状況であることが分かります。

近年の住宅火災による犠牲者の発生状況について、逃げ遅  
れが最も多く、全体の半数以上を占めています。また、起き  
ている時間より、就寝時間に犠牲となる方が多くなっています。  
「火災警報器は、あってもなくても何も変わらない」と思っ  
ている方、それは大間違い。消防庁によると、死者数や焼損  
床面積などの被害は火災警報器を設置していない場合に比べ、  
被害状況が概ね半減していると報告されています。

住宅火災による死者数(放火自殺者等を除く)の構成  
【平成21年中】



(資料) 総務省 消防庁

# 住宅用火災警報器を 設置して安心感があります

蛇喰集落の近徹也さんのお宅では、住宅の新築に伴い、住宅用火災警報器を設置しました。六人家族の近さんは、各々の寝室と、階段（二階）に計6個の単独型火災警報器を設置。初めて住宅用火災警報器を設置して感じた点など話を聞きました。

Q 火災警報器を設置して良かった点は？

A 設置したことにより、安心感があります。漏電など怖いですが、警報器が教えてくれるので安心できます。

Q どういうところが安心できますか？

A 天ぷらなど作っているときに台所を離れたりする場合もあります。その場を離れたとき、万一、



火が出ても警報器が教えてくれるので安心できます。

Q 村内の住宅用火災警報器設置率が低いということについて？

A 自分は村消防団の一員ですが、消防団や区長などが火災警報器の設置をもっと願っていていけば良いと思います。

## 設置して良かった住宅用火災警報器 奏功事例を紹介します



### 【事例1】

布団の上で寝たばこをしてしまい、住宅用火災警報器の警報音で目が覚めると、布団から煙が出ていて、室内が煙で充満。片手鍋に水を入れて消火し、ぼやで済んだ。

### 【事例2】

一人暮らしの高齢者が、ガスコンロにフライパンを掛けたまま火を消したと思いこみ外出した。通りかかった近所の方が、台所と居間に設置してあった住宅用火災警報器の音に気付いたが、玄関が施錠されていたため、玄関のガラスを割って室内に入り、ガスコンロの火を止めた。

### 【事例3】

1階寝室のストーブが原因で発生した火災の煙を、住宅用火災警報器が感知して作動。夕食時、1階台所で家族が気づき、バケツに水を汲んで消火した。



### 【事例4】

妻が食事の準備中、ガスコンロに鍋をかけたままその場を離れ、隣の居間で夫と話をしていました。15分位してから、居間の天井に設置してある住宅用火災警報器が鳴りだした。妻が台所へ行くと鍋から煙が上がっていた。すぐにガスを止め、元栓を閉めたことで煙はおさまった。